


1. 概論
 - 1.1. 森林美学と景観生態学の関連
 - 1.2. 森林美学の系譜
 - 1.2.1. 森林美学の発展と展開（ドイツと日本での展開：造園学・森林風致計画へ）
森林管理の基本は狩猟学の側面が強い（領主の狩猟が上手くできるような森造り
= 野生動物管理）
 - 1.2.2. 古典、特に**土地純収益説** vs. **森林純収益説** 森林経理学論争の視点からー
 - 1.2.3. 北海道大学に於ける展開（新島・今田/伊藤・小関）
 2. 森林生理生態学の視点
 - 2.1. 森林美学の今日

Waldasthetik
über Forstwirtschaft, Naturschutz und die Menschenseele
（森林科学、自然保護 そして魂の安らぎのために）
Wilhelm Stölb 著（ミュンヘン大学林学出身）
2005 年刊行の紹介
 - 2.2. 自然に習う施業法へ
……ドイツの造林学者 Gayer らの思想
 - 2.3. 経済性と「森林美」の追求の問題点
 - 2.4. 景観の樹木生理・森林生理生態学的基础
- 針葉樹一斉林から混交林へードイツの事例ー



生物多様性保全のために、広葉樹を植栽する。
- (2005 年 10 月 2 日 Freising にて)
3. 森林の「空間的規制」**Räumliche Ordnung**
 - 3.1. 秩序付けーOrdnung ist das halbe Leben（整理整頓がドイツ人の気質）
 - 3.2. 森林作業法（特に風雪害に耐性のある森造り）
 - 3.3. 日本人の森林（自然）観ー森林文化論への展開ー
筒井迪夫（東大名誉教授）…今田敬一教授との縁の紹介
 4. 森林の混交林化
 - 4.1. 針葉樹一斉林から混交林へー生物多様性の視点ー
 - 4.2. 混交林への誘導技術と空間的規制ー強度間伐と関連してー
 - 4.3. 森林風景「保育」のための基本原理
 - 4.4. 環境変化の影響の予測
 5. 森林景観の整備
 - 5.1. 森林純収益説と巨樹の保護＋「古事の森」構想の紹介
…森林自体の存在の生む価値とその高度化
 - 5.2. **フォレスト・スケープ**と実践
 - 5.3. 森林景観の整備
…由田幸雄氏（林野庁・福島森林管理署の実践例から……
堀 繁教授・香川らのフォレスト・スケープを紹介）
 - 5.4. 景観管理と侵入種 保全生態管理の視点
 6. 森林経理学の視点……（秋林幸男担当）
 - 6.1. 森林経理学論争と歴史
 - 6.2. ファウストマンの理論
 - 6.3. 再び・森林純収益説へ